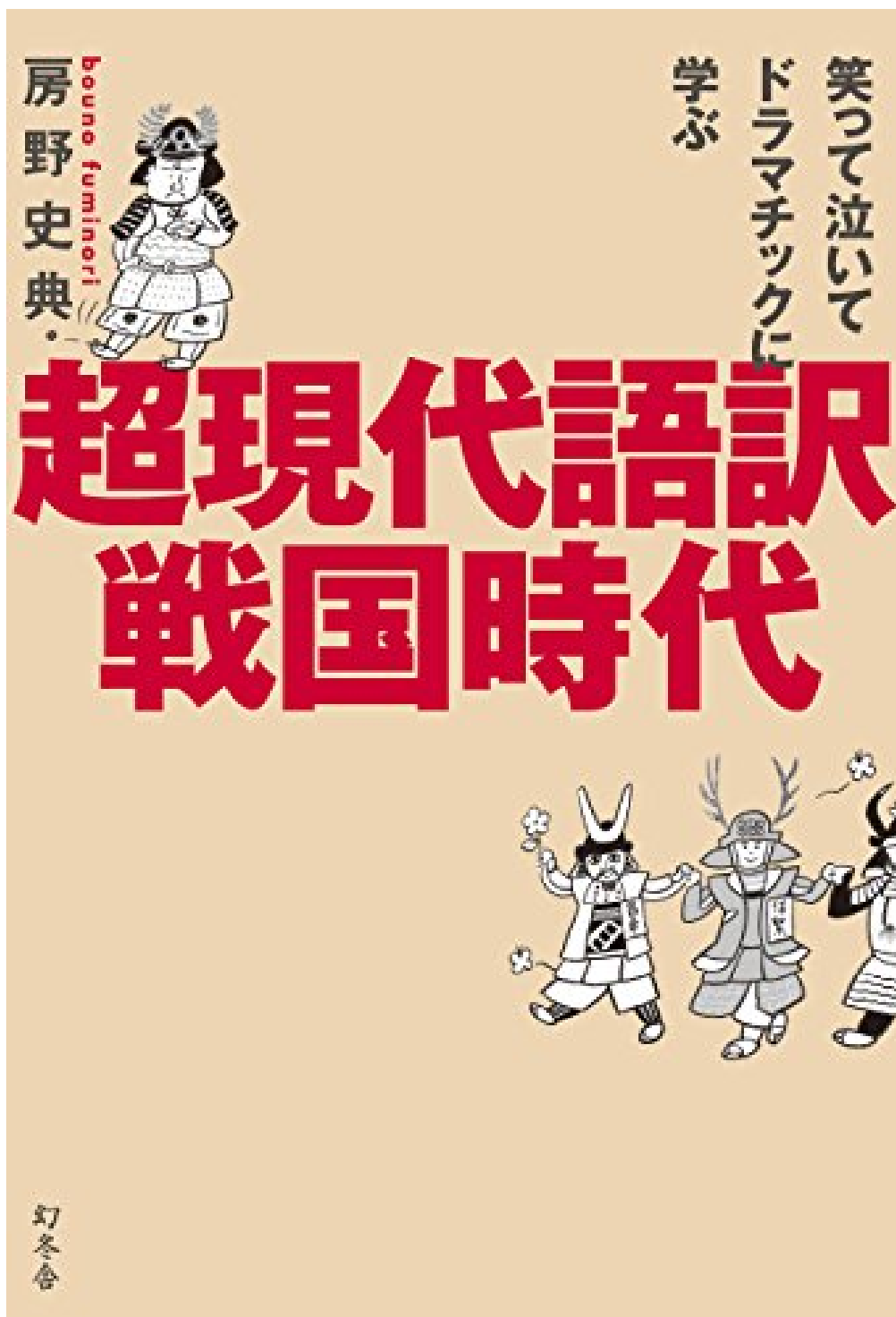


笑って泣いてドラマチックに学ぶ 超現代語訳 戦国時代
(幻冬舎単行本)



発売日: 2017年3月18日

出版: 幻冬舎

著者: 房野史典

ページ: 240

PDF

東大生も、あまりの面白さにびっくりした!!
マンガみたいに読めて、ドラマよりもワクワク。教科書では読めない、裏話や面白エピソードも満載の、歴史物語。

欲、プライド、派閥、戦略、信頼、裏切り、友情、愛、別れ……。
戦国時代は、現代社会にも通じる“すべて”が詰まった、笑い涙ありのキング・オブ・ドラマだ!

「こんなに全体像が見えたのは初めて!」
「歴史って、こんなに面白かったのか」「毎回、一気に読んじゃう。早く続きを!」
「武将がみんな可愛げある!」と、連載中から大絶賛。
笑って、読んで、フクザツな人間関係や勢力図が、びっくりするほど頭に入る。戦国武将が生き生きと動き出す。

- 要塞「真田丸」が、世に名を轟かせた理由とは?
- 「くわせもん」真田一族は、味方ばかりか、敵からも絶賛された!
- 映画「ホーム・アローン」で活躍する子供みたい!
3倍の兵を持つ家康を打ち負かした、真田の嘘と知恵と心理作戦。○関ヶ原の戦い、実は一日で終わっちゃったって知ってた?
- 家康が、関ヶ原の戦いに勝つために、出陣もせず、一ヶ月城に籠ってやっていたのは手紙を書きまくること。携帯もパソコンも無い時代の、見事な情報戦。
- 家康を激怒させた有名な手紙「直江状」を現代語訳すると、ありえないほど上から目線のオンパレード!
- “嫌われ者の優等生”石田光成の、気高く壮絶な最期が泣ける。
- 「応仁の乱」のきっかけになったお家騒動のドロドロ度は、“昼ドラ”レベル!
結局、戦国時代が一番おもしろい。

それぞれが、ありとあらゆる能力をフル活用して、生死を懸けた駆け引きと戦いを繰り返している時代。面白くないわけがないのです。 「はじめに」より。

<https://rapidgator.net/file/c86e0517187593c0375c76af01e7bbaa/mPKpYbmvC.pdf.rar.html>